



東北学院大学

博物館年報

2025

Vol.17



I N D E X

概要・組織	2
展示活動	3
地域連携・博物館連携	4
資料調査・収集	4
研修・調査	5
大学教育支援	5
刊行物・広報	6
利用統計	7
運営委員会	8
利用案内	10



概要

東北学院大学博物館は、文学部歴史学科をはじめとした本学の最前線の研究成果を一般に紹介するとともに、博物館学芸員の教育の場として活用することを目的に、2009年にオープンした。杜の都仙台のメインストリートの一つ愛宕上杉通りに面しており、市民に親しまれる大学博物館を目指している。

施設は鉄骨平屋建で、建物面積は約 300 m²である。展示室（180 m²）のほか、収蔵庫、実習室、事務室、多目的トイレ等を有し、24 時間の空調、機械警備等によって貴重な資料等の管理環境を整備している。

展示の最大の特徴は、教員と学生が寝食を共にしておこなうフィールドワークや、実物資料を扱いながら歴史を読み解くゼミ活動での成果などをもとに、学生たち自身が展示を考え、実施していく点にある。

2025 年度も、例年通りの着実な活動を行うとともに、ゼミ活動との有機的な連携展示、「東北学院ミュージアムサポーター」制度を活用しての本学学生の博物館活動への幅広い参加など、充実した活動を展開できた 1 年であった。

組織（2025 年度）

職員

館長	永田 英明	文学部歴史学科教授
学芸員	佐藤 敏幸	業務委託職員／本学非常勤職員
学芸員	七海 雅人	文学部歴史学科教授
学芸員	金子 祥之	文学部歴史学科准教授
学芸員	木山 克彦	文学部歴史学科准教授
事務職員	伊藤みつ美	学修支援課派遣職員
学芸研究員	楊 雪雁	大学院文学研究科アジア文化史専攻博士後期課程
学芸研究員	吾孫子侑希	大学院文学研究科アジア文化史専攻博士前期課程
学芸研究員	遠藤 玄	大学院文学研究科アジア文化史専攻博士前期課程
学芸研究員	五戸 翔天	大学院文学研究科アジア文化史専攻博士前期課程
学芸研究員	佐々木大樹	大学院文学研究科アジア文化史専攻博士前期課程
学芸研究員	佐澤 春花	大学院文学研究科アジア文化史専攻博士前期課程
学芸研究員	鳴海 公祐	大学院文学研究科アジア文化史専攻博士前期課程
学芸研究員	松浦 那奈	大学院文学研究科アジア文化史専攻博士前期課程

展示活動

①企画展「南津島の田植踊展—未来へつなぐバトン—」

2024 年 12 月 19 日(木)～

福島県双葉郡浪江町南津島に伝承されている、福島県重要無形民俗文化財・国の選択無形民俗文化財「津島の田植踊」に関する展示。南津島郷土芸術保存会資料・山口弥一郎資料(磐梯町所蔵)などを展示・紹介した。本学歴史学科金子ゼミ(民俗学)が南津島郷土芸術保存会との協働で2022年から取り組んできた民俗芸能の継承支援に関するプロジェクトの成果展示である。



②博物館館園実習成果展

「がんこみてたんせ 勝平得之版画展～今に伝える風景～」

2025 年 9 月 16 日(火)～2026 年 7 月 4 日(土)

当館における博物館館園実習の成果展示として、秋田と共に生きた民俗版画家「勝平得之」の彩色版画4作品と、三枚一組となる絵はがき集『勝平得之作民俗版画集』に収録された4作品を展示した。

③ミニ展示(ゼミ活動との連携展)

穢れを祓う墨書人面土器(2025.12～ 歴史学科木山ゼミとの連携展示)

当館のシンボル展示である、多賀城市市川橋遺跡出土の墨書人面土器展示のリニューアルを兼ねて、墨書土器の「使われ方」や「出土場所」に注目し、また破片資料も同時に展示。文学研究科大学院授業(考古学特論Ⅱ:木山克彦准教授担当)の一環として作成した、3Dモデルをも同時に動画として公開している。



中世の霊場と信仰—松島の世界 雄島海底板碑群(通年:歴史学科七海ゼミの活動)

歴史学科七海ゼミと当館の連携活動として実施している、松島・雄島の海底板碑調査の成果を展示。その成果は『KOREMITE』11号としてまとめている。



財布の中にも歴史はあった!～第一次世界大戦後のドイツのハイパーインフレの中で、人々はどう生きたか～(2025.8～ 歴史学科杵淵ゼミ)

歴史学科杵淵文夫ゼミ(ヨーロッパ近現代史)の学習テーマに係る展示。第一次大戦後のドイツにおけるハイパーインフレ問題をパネルにまとめ、インフレ紙幣11点とともに展示した。

木簡にみる古代のまじない—木簡レプリカ実習展(2025.11～)

歴史学科永田ゼミの活動展示として、各地で見つかる呪符木簡を手がかりに古代人の「祈り」や「呪い」に関わる木簡の複製を製作し展示した。



地域連携・ワークショップ

SMMAミュージアムユニバースへの参加 2025 年 12 月 20 日(土)

仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)の参加館が、ミュージアムの楽しさを伝える毎年恒例のイベント「ミュージアムユニバース」に参加した。今年度は前年度同様、体験型のワークショップとして、手作りコマをテーマとしたワークショップとして「みやぎの伝統コマであそぼう！ 折り紙でコマをつくろう！」を開催した。



東北学院ミュージアムサポーター

2024 年度から、東北学院大学博物館、および東北学院史資料センターが行う、市民や学生向けの様々な活動をサポートする学生スタッフを「東北学院ミュージアムサポーター」として募集する取り組みをおこなっている。2025 年度は、合計 44 名（実人数）の学生が下記の事業に参加した。

- 1) SMMA ミュージックユニバースにおけるワークショップ（同上）
- 2) 福島県浪江町津島における田植踊の継承支援(現地イベント等への協力等)
- 3) 企画展「南津島の田植え踊り展」開催に向けての展示制作サポート
- 4) 6 号館地下資料収蔵室の資料整理

資料収集調査・保存

(1)資料の新規収集

①勝平得之民俗版画 2 点

従来から継続的に収集をおこなっている、秋田出身の版画家・勝平得之の作品を新たに 2 点収集した。

勝平得之「ほんでき棒売の図」(購入)

勝平得之「チャグチャグ馬コ祭」【東北学院大学民俗玩具研究会 OB) より寄贈】

②和本「武鑑」1 冊 (佐藤正義氏より寄贈)

(2)収蔵庫および保管資料の点検・調査

①収蔵資料の整理

- ・収蔵庫収蔵資料の点検及びアーカイブ用写真撮影 (通年)
- ・6 号館地下収蔵庫考古資料の清掃・点検・整理

②収蔵庫の燻蒸作業 (2 月)

研修・調査

(1) 博物館関係学会・研修会等への参加

日本博物館協会東北支部・東北地区博物館協会総会・研修会

8月21日、於トーサイクラシックホール岩手・岩手県民会館に七海学芸員が参加した

(2) 博物館の将来計画にかかる調査活動

9月4日、永田館長・金子学芸員が天理大学を訪問し、学芸員課程のカリキュラムや天理参考館と学芸員課程の連携等について担当教員からのヒアリングをおこなうとともに、天理参考館の活動を調査・視察した。

大学教育支援

博物館館園実習の実施

「博物館実習Ⅱ」として行われる博物館館園実習の一部を、下記の要領で受入れ実施した。

実習担当：佐藤敏幸（業務委託職員：学芸員）

受入学生数：32名

（東北学院大学文学部総合人文学科3年生4名、歴史学科4年生2名、3年生26名）

1班 2025年 8/11・12・13・14・15日

2班 2025年 8/18・19・20・21・22日

3班 2025年 8/25・26・27・28・29日

4班 2025年 9/8・9・10・11・12日

内容

- ①本学博物館の収蔵コレクションを主教材とし、「版画家 勝平得之の世界-東北学院大学博物館コレクション-」展を制作する。制作に際し展示資料のクリーニング、調査、写真撮影、展示解説パネルの作成、展示、解説の実体験を通して学芸員として必要とされる資質の向上を図る。
- ②研究教育、地域の博物館としての活動として本学博物館を起点とした「まちあるき」を体験する。
- ③博物館勤務で必要とされる日常業務(点検、清掃、温湿度管理等)について実体験を通して学ばせる。



学芸員課程教育への協力

「博物館実習Ⅰ」「博物館情報・メディア論」の履修学生を対象に、博物館を活用した授業等を実施した。

学部教育への協力

文学部歴史学科の開講科目を中心に、ゼミ活動の成果発表展示等の機会を提供した。

大学院生の学芸員教育(学芸研究員制度)

大学院文学研究科アジア文化史専攻の大学院生合計 5 名を「学芸研究員」として雇用し、学芸員実務経験の習得の機会を提供した。

刊行物・広報

オリジナルホームページ(<https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum/>)の更新

ツイッターによる情報発信

『KOREMITE』vol.11「南津島の田植踊を 1000 倍楽しむガイドブック」の発行(2026年 3 月)

- ・ミュージアムサポーター制度を活用した活動である、文学部歴史学科七海ゼミとの連携調査
松島・雄島の海底板碑群の調査成果についてまとめた。

情報誌『OTAKU みゅーじあむ』の編集・発行

- ・当館の活動を広報する情報誌『OTAKU みゅーじあむ』10号・11号を刊行した。



OTAKU ミュージアム vol.10



OTAKU ミュージアム vol.11



KOREMITE vol.11

X (旧ツイッター) による情報発信

合計 27 回の更新をおこなった。

ホームページによる情報発信

- ・オリジナルホームページ (<https://www.ipc.tohoku-gakuin.ac.jp/tgum/>) の更新をおこなった。
- ・大学ホームページ内の大学博物館に関するページの更新と情報発信をおこなった。

年報の作成・発行(電子媒体)

2024 年度の年報(電子媒体)を編集・発行しホームページ上で公開している

利用統計 2025 年度

1. 博物館入館者数一覧※学芸員課程科目などの授業の一環としての利用は除く

項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数	23	22	24	24	17	21	24	21	21	21	18	22	258
有料入館者数	19	19	23	15	27	40	12	3	7	19	19	30	233
無料入館者数	178	30	137	136	4	11	48	145	26	82	13	128	938
小計	197	49	160	151	31	51	60	148	33	101	32	158	1,171
開館後の累計													20,514

2. 無料開館日入館者数

創立記念日	5 月 15 日 (月)	0
後援会総会	6 月 13 日 (土)	48 名
初夏のオープンキャンパス	6 月 28 日 (土)	71 名
夏のオープンキャンパス	7 月 26 日 (土)	103 名
大学祭	10 月 25 日(土)	6 名
東北文化の日	10 月 25 日(土)/11 月 8 日(土) /22 日(土)	60 名
冬のオープンキャンパス	12 月 6 日 (土)	19 名
公開クリスマス	12 月 12 日(金)	1 名
卒業式	2026 年 3 月 23 日 (月)	14 名
春のオープンキャンパス	2026 年 3 月 28 日(土)	26 名

3. 授業・館園実習等での博物館利用人数※人数はのべ人数/1日単位

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
授業	回数	7	0	8	14	3	14	13	11	20	12	-	-	102
	人数	116	0	97	168	36	111	158	138	194	132	-	-	1,150
館園実習	回数	-	-	-	-	15	5	-	-	-	-	-	-	20
	人数	-	-	-	-	120	40	-	-	-	-	-	-	160
合計人数		116	0	97	168	156	151	158	138	194	132	-	-	1,310

4. 学校教育における利用(施設見学・職場体験学習)

施設見学			職場体験		
11/12	東北学院高校 TG コース 2 年生	43	10/16	東北学院中学校	3
			10/23	青陵中学校	2
			11/6	第二中学校/田子中学校(各 3 名)	6
			11/13	館中学校	2
合計 1 件		43 名	合計 5 校 4 件		13 名

5. 館蔵資料の貸出、閲覧、撮影、出版物掲載利用申請

申請者	貸出	閲覧	撮影	掲載	申請対象資料・備考
個人 (2 回)		1 式			安養寺中囲瓦窯出土資料
松島町教育委員会		1 式			西の浜貝塚資料確認
上杉地区連合町内会		7 点			仙台年中行事絵巻 他 6 点
個人(2 回)		1 式			西の浜貝塚出土資料
上杉地区連合町内会				3 点	海国兵談 他 2 点
河合出版				2 点	2027 大学入学共通テスト過去問の資料掲載
大和町生涯学習課		2 点			信楽寺跡 第 2, 3 遺跡 遺構平面トレース図

運営委員会

2025 年度東北学院大学博物館運営委員会

博物館の運営に関する重要事項を審議するため、東北学院大学博物館運営委員会を開催した。

第 1 回委員会

2024 年 6 月 25 日（水）18:00～開催（Zoom ミーティングによる開催）

報告事項

- 1) 2024 年度博物館事業等報告
- 2) 2025 年度博物館事業計画
- 3) その他

5. 審議事項

- 1) 2024 年度博物館決算
- 2) 2025 年度博物館予算
- 3) 2025 年度館園実習について
- 4) 2025 年度学芸研究員の採用について
- 5) 博物館の整備等について
- 6) 前回議事録の件
- 7) その他

第 2 回委員会

2025 年 11 月 28 日（月）18:00～開催（Google Meet による開催）

報告事項

- 1) 2025 年度博物館事業の実施状況
- 2) 2025 年度博物館利用状況報告
- 3) 2025 年度博物館館園実習報告
- 4) その他

審議事項

- 1) 2026 年度博物館事業計画（案）
- 2) 2026 年度博物館予算（案）
- 3) その他
- 4) 前回議事録の確認

2025 年度博物館運営委員会委員名簿（2026 年 3 月現在）

1. 博物館長／歴史学科長	永田英明	（文学部歴史学科教授）
2. 文学部長	紺野祐	（文学部教育学科教授）
3. 学務部長	平野幹雄	（人間科学部心理行動学科教授）
4. 図書館長	松村尚彦	（経営学部経営学科教授）
5. 総務部長	早坂友行	
6. 法学部	楊 秋野	（法学部法律学科准教授）
7. 工学部	崎山俊雄	（工学部環境建設工学科准教授）
8. 人間科学部	天野和彦	（人間科学部心理行動科学科教授）
9. 教養教育センター	巖谷睦月	（教養教育センター准教授）

利用案内

開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：日曜日、祝日・休日、第2・第4週を除く毎週土曜日、大学の定める休業日

入館料：一般200円（減免措置あり）

※学校法人東北学院の役員・教職員・学生・生徒・園児・旧役員・旧教職員は無料。大学同窓生は、ホームカミング・デー等の館長の定める行事日は無料。未就学児、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校もしくは高等専門学校の児童、生徒又は学生、65歳以上の方、障害者基本法に定める障害者と介護者1名は無料。

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1

電話番号：022-264-6920

FAX：022-264-6917

交通案内



2025 年度東北学院大学博物館年報 vol.17

編集・発行 東北学院大学博物館

発行日 2026 年 6 月 30 日